

# 僕たちは困った子ですか？

～外国にルーツをもつ子どもたちと公立学校～

公立小学校教諭 日本語指導担当  
金子 綱基（かねこ つなき）



# 金子纲基

**36岁 小学老师15年**

**我一年的育儿假明天结束。**

**担任班主任12年，日语老师2年。**

**基地学校方式参观指导**

**例如，每周教8所学校的17名学生**

**家庭成员：爱人、大儿子（四年级）、二儿子（大一点）、大女儿（快1岁了）**

# 金子綱基（かねこつなき）

36歳 小学校教員15年目

1年間の育休も明日で終了になります

学級担任12年の後、日本語指導担当2年。

拠点校方式による巡回指導

例えば、1週間に8校17名に指導

家族：妻・長男（小4）・次男（年長）・長女（もうすぐ1歳）



# 学級指導 居場所づくり

担当児童の学級で私が話すこと

「外国語で一日過ごすことの困難さを想像しよう」

「君たちは日本語と日本の生活のプロである」

子ども同士で教え合い、支え合う関係づくりを

# マズローの欲求5段階説

学習

①

自己実現

②

人間関係

承認

③

所属と愛

④

生活

安全


⑤

生理的欲求

困った子は、  
学校教育のシステムと

先生方（大人）のマインドセット  
から生まれている。

学力・点数・掲示物・評価・受験・同調・前例踏襲など、  
子どもたちを困らせ、障壁になっているのではないか。

A close-up photograph of a hand reaching out, palm up, against a background of shimmering blue water. The water is out of focus, creating a bokeh effect of bright, circular light spots. The hand is in the foreground, with fingers slightly spread. The overall mood is hopeful and aspirational.

**「私は将来、アメリカでビジネスを  
学び、起業家として働く。」**

**中1女子生徒（ブラジル国籍）**

意味も解らない漢字を練習する。

なかなか合格できない。不合格者の名前を貼られる。

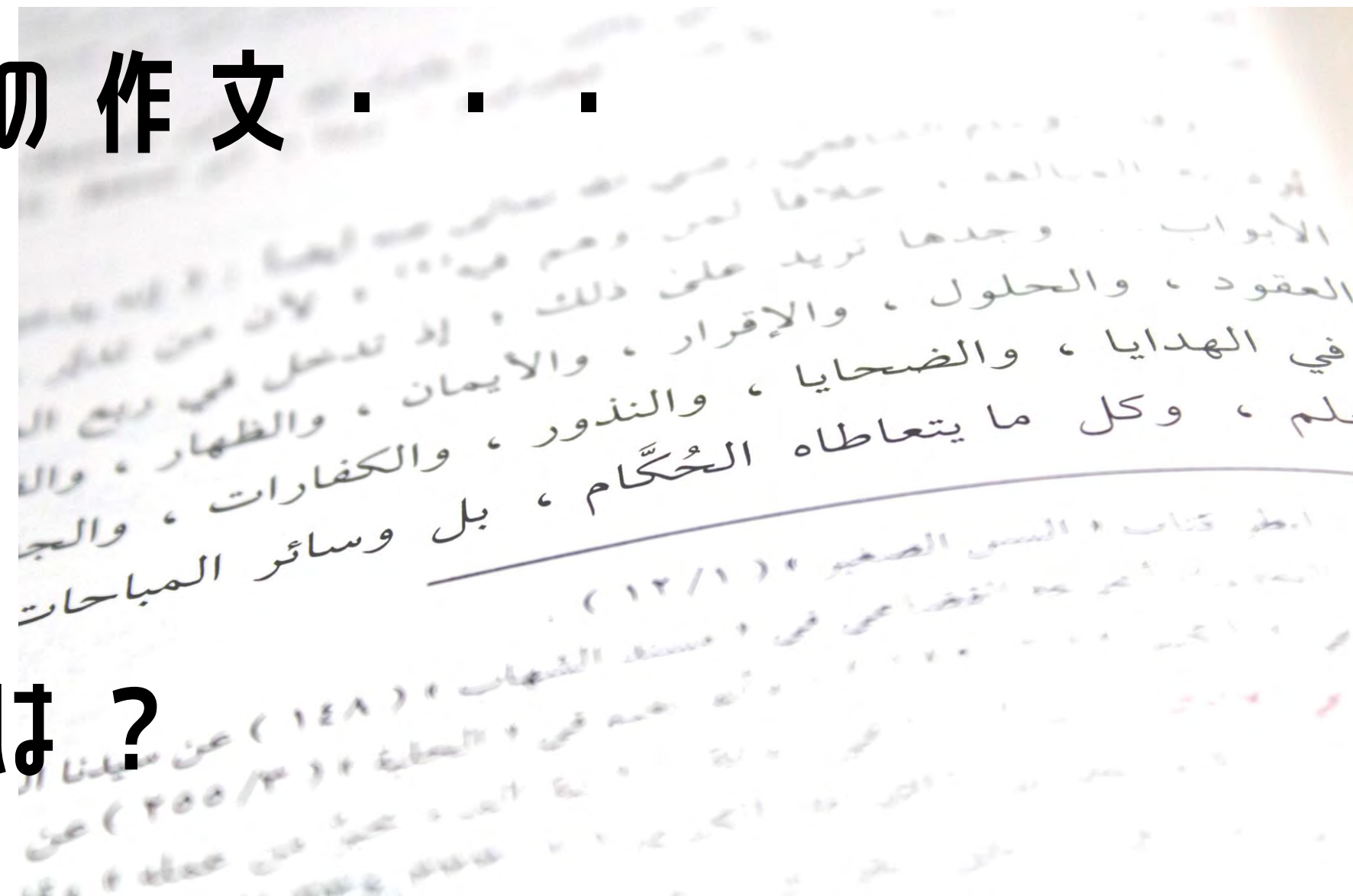
テスト勉強は、ワークの答えを赤ペンで書きこむこと。

故事成語を使って、400字の作文・・・

自分の体験をふまえて

みんなと同じである必要は？

児童生徒に寄り添った指導とは？





週1コマの日本語指導時間で、教えることは難しい。

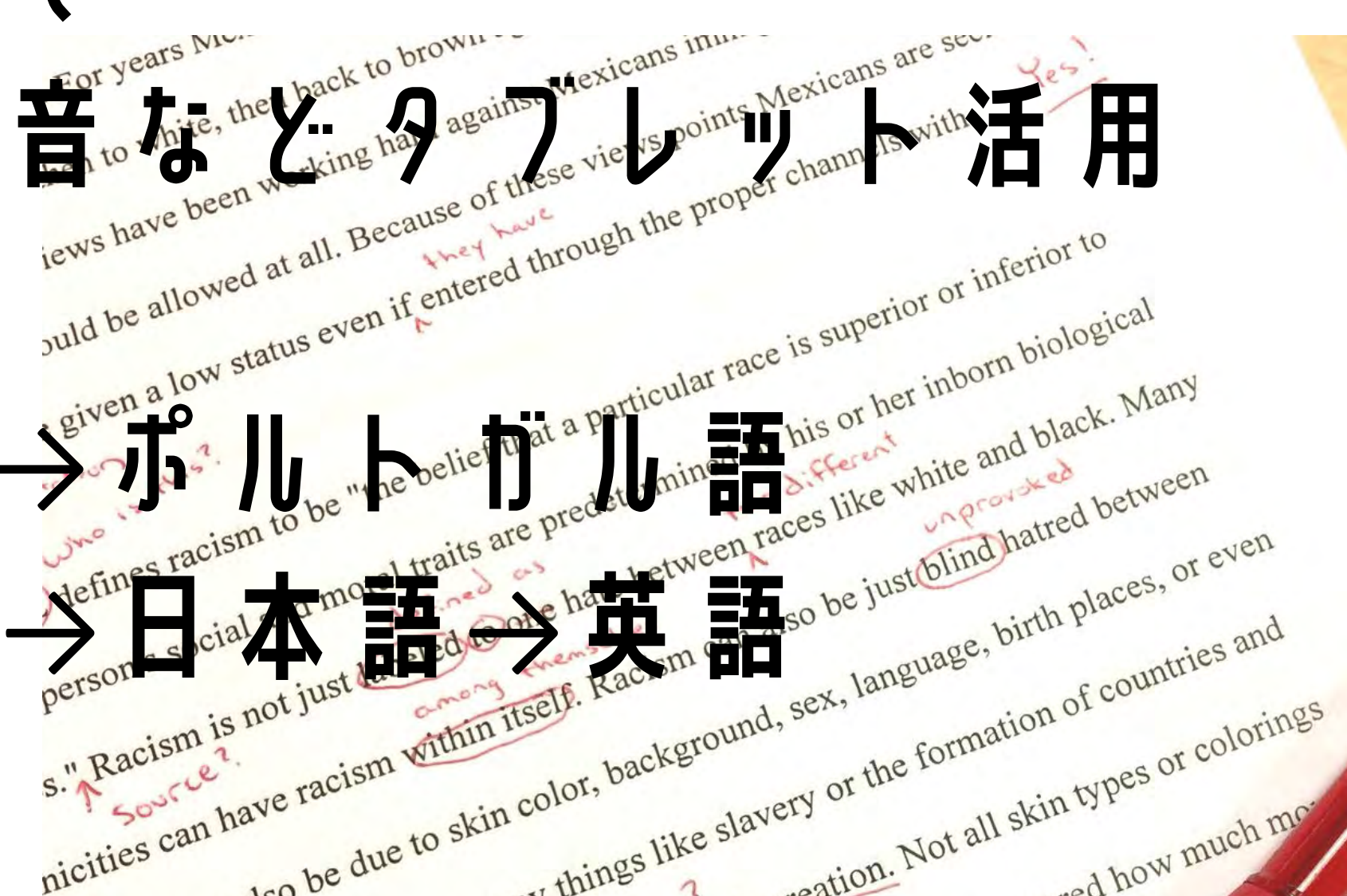
魚よりも魚の取り方を！ 答えより学び方を！

(例) 中1英語の学習で

単語の意味調べ、発音などタブレット活用

訳す) 英語 → 日本語 → ポルトガル語

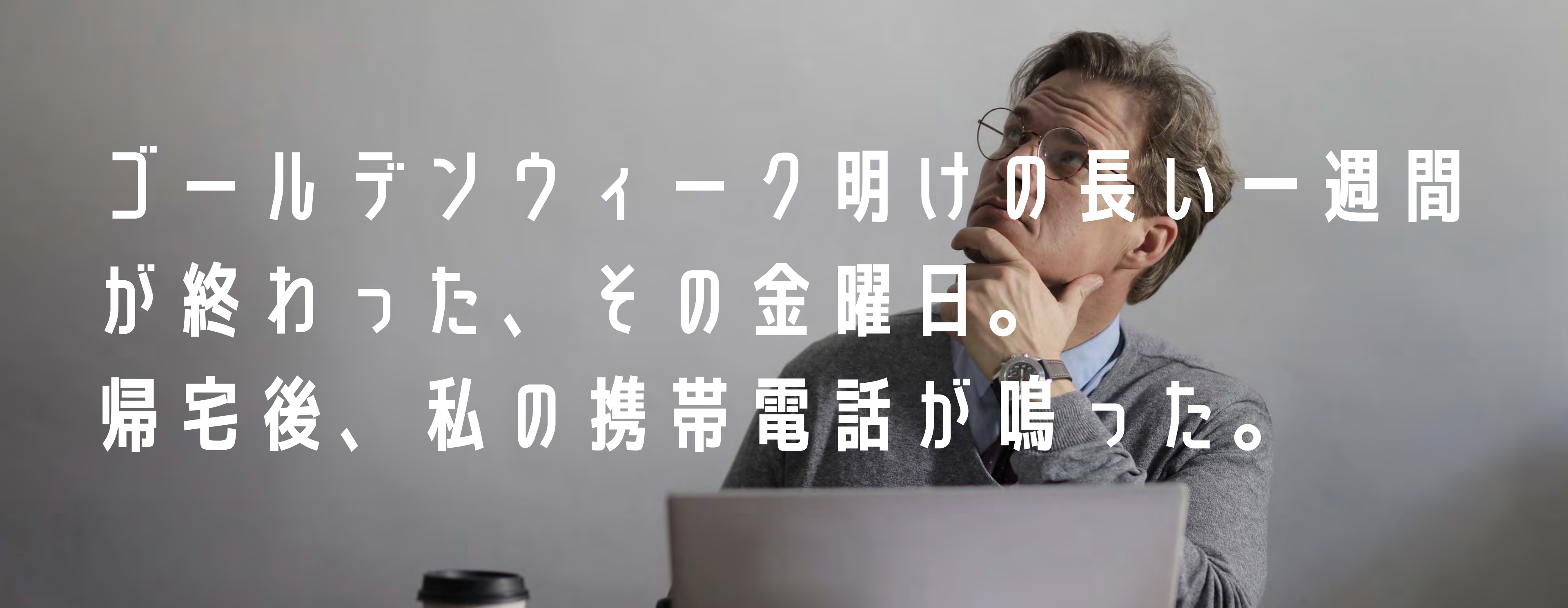
書く) ポルトガル語 → 日本語 → 英語



A photograph of a baby sitting on a grey shaggy rug in a room. The baby is wearing a striped long-sleeved shirt and is holding a wooden mallet. There are colorful toys on the rug, including a xylophone and a drum. In the background, there is a white plastic basket and a window with a lattice pattern. The text is overlaid on the image.

困った子は、  
学校教育のシステムと  
先生方（大人）のマインドセット  
から生まれている。

学力・点数・掲示物・評価・受験・同調・前例踏襲など、  
子どもたちを困らせ、障壁になっているのではないか。



ゴールデンウィーク明けの長い一週間  
が終わった、その金曜日。  
帰宅後、私の携帯電話が鳴った。

「来週、転入生が来る。中国から。」

ククククク・楽しみ・可能性

Choice

Choice

不安・大変・困った

「うちのクラスじゃなくてよかった」

「金子さんのところで丁度よかった」

「日本語わからないんじゃ大変」





シンちゃん（仮称）が  
クラスに来てくれたことで

学級や子どもたちの成長を感じ、  
新しい経験と学びに結び付いた

だけど、シンちゃんはいつの間にかいなくなった

# シンちゃんとの関わりから(子)

「先生、放課後に遊べるか聞きたい」

中国語を自学で

「私と同じ清掃分担にしてください」

タブレットで翻訳

「林間学校は私と同じ部屋でサポートします」

画像で説明

「ひらがなを教えてあげていいですか」

ジェスチャーで伝える

言葉の壁を超える体験



# シンちゃんとの関わりから(私)

自分では伝えきれないこともある→日本語指導の先生に伝えてもらおう

シンちゃんには自分で進められる課題を用意しよう

子どもたちでも十分に教えてあげられる

大事なことだけわかるように伝えよう(保護者にも)

みんなが何しているのかわかるようにしてあげたい

どうしたらいいのかなの繰り返し





これからの社会（学校）は  
国籍・言語・文化を越えていく

国籍・言語・文化とともに  
みんなちがって、みんないい



国際理解教育、ボランティア教育、  
多文化共生教育、インクルーシブ教育、  
キャリア教育、道徳教育、  
心の教育、外国語教育、  
ユニバーサルデザイン、多様性、  
グローバル人材の育成

教わるのではなく  
生活を通してリアルに体験できる学び。  
もっともっと身近に。価値ある経験。

(例) 係名簿に名前があるのに、当番表に名前がない



- ・ 動作から言葉を学ぶ
- ・ 活動から人間関係を育てる
- ・ 役割から承認と喜びを生む

できないのではなく、  
できるようにするには  
どうしたらいいだろうか？

の視点。



**(例) かけ算九九**

**日本語、中国語、ポルトガル語関係なく**

**かけ算ができることが目標**

**「学びを止めない！途切れさせない！」**

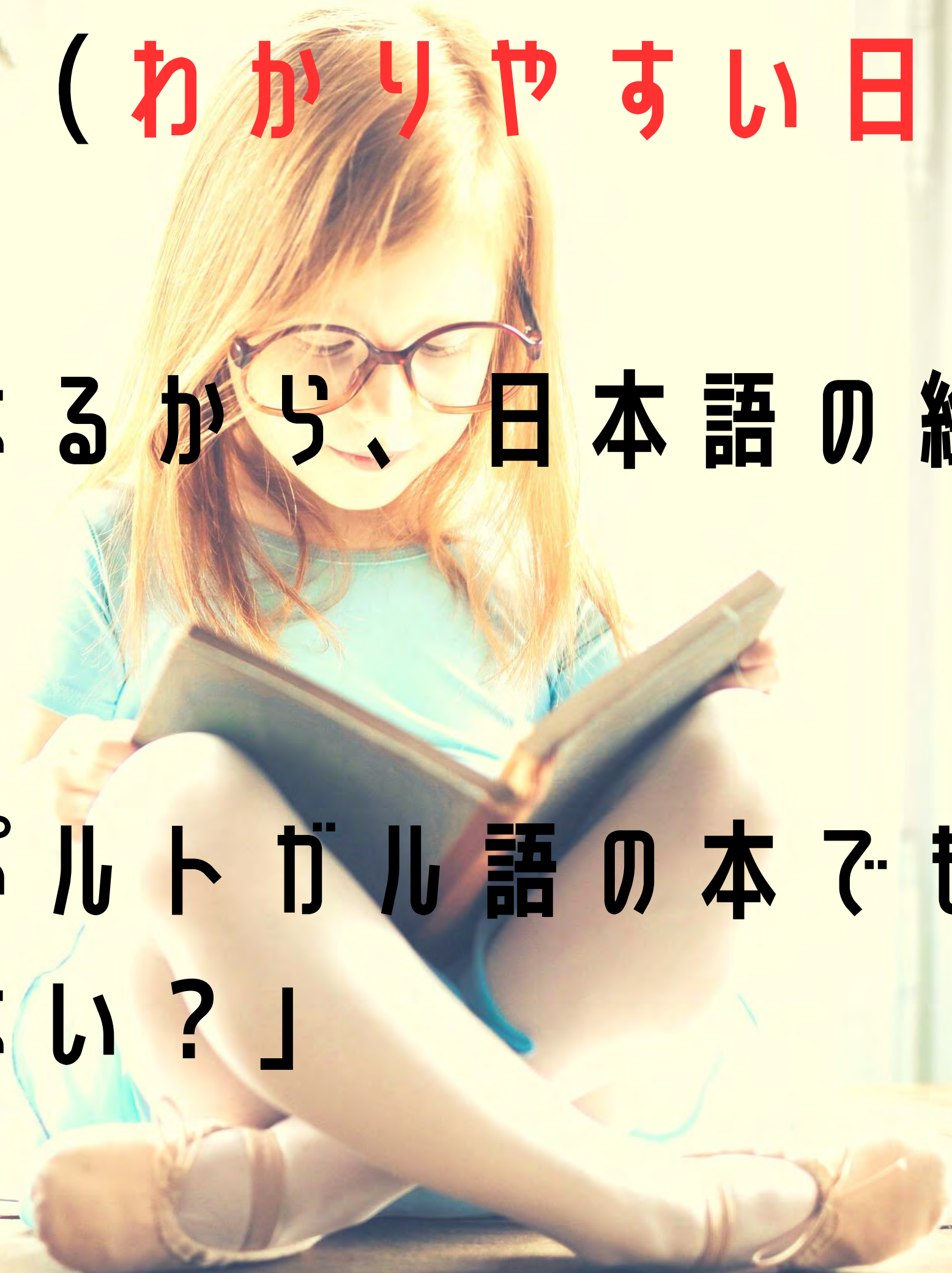
**母語教材、授業動画、計算ゲームなども活用  
この子に適した学習方法はなんだろう？**

読書 → ほんをよむ (わかりやすい日本語)

「日本語の勉強になるから、日本語の絵本を  
読んだら？」

↓

「英語の本でも、ポルトガル語の本でも  
いいんじゃない？」



・ おしゃべりばかりでなかなか進まない子

・ お絵描き、トランプを楽しみにしている子

・ ずっと机にふせている子

何を求めているのか？ その子の良さは？

私にできることは？ どう生きてほしいか？

# マズローの欲求5段階説

学習

①

自己実現

②

人間関係

承認

③

所属と愛

④

生活

安全

⑤

生理的欲求

# 僕たちは困った子ですか？

～外国にルーツをもつ子どもたちと公立学校～

- ・ どの子も互いに価値ある存在
- ・ 安心安全、信頼、居心地
- ・ 学校教育とマインドセットを柔軟に
- ・ 未来の形、これからの生きる力
- ・ 言葉の問題ではない

